

旅行検討 ▶ 申込み

契約成立 ▶ 出発

▶ 出発後

ドクター・ジャタ

Dr. JATAの旅行講座

特別講座

自分の身は自分で守ろう ～日本人は狙われている～

気をつけて
行きましょう

気をつけて

日本人が海外で巻き込まれた事件の4割近くを占めるのが、窃盗、強盗、詐欺といった金銭関係の財産犯。日本人は「お金持ちで脇があまい」と思われているので慎重に行動しよう。

トラブル事例から学ぶ

自分でできる リスク回避

⚠️ パスポートや現金は 自己管理が基本です

パスポートや現金をホテルの部屋にあった金庫に保管し、外出後開けてびっくり中身は空っぽ！急いでホテルのフロントに問合せでも、「責任はとれない」との意外な返事ががっかり。

●国や地域によっても異なりますが、ホテルは例え部屋の金庫の中であろうと一切の責任を負わないのが一般的。フロントのセイフティボックスに預けるよう指示がありますが、ホテルによってはそれすら万全とは言えない場合もあります。パスポートや現金、貴重品の保管については、結局「自己責任」としか言いようがないのです。

⚠️ 巧妙なスリに注意を カードの利用も慎重に

ソフトクリームを食べながら歩いてきた男とぶつかり、上着にクリームがべったり。男は謝りながらクリームを拭

きとって去って行ったが、ふと気付くと、拭く時に地面に置いたバッグを後ろから来た男の仲間に盗まれていた。

●スリのグループは巧妙な手口で旅行者のスキを狙っているということをお忘れなく。クレジットカード利用時も注意が必要です。サインをする前に金額を確認したり、店員の不自然な動きに気をつけて、思わぬカード詐欺に会わないように用心しよう。また、どんなに仲良くなっても、絶対にOKしてはならないのが、「日本の友人に荷物を届けて」といった類の依頼。麻薬が入っていたばかりに、何十年も海外の刑務所に服役している日本人もいるのです。

⚠️ 財布の中身は見せない 現金はまとめて持たない

銀行で現地通貨へ両替し、その場でバラバラと紙幣の枚数を確認。財布をジーンズの尻ポケットに入れて歩いたら、路地に入った途端に男に襲われ、首を絞められた上に財布を奪われた。

●両替や買物の後でお金を財布にしまうときは、周囲から見られないように素早く、こっそりと。また、ひとつの財布に全財産を入れるよりも、あらかじめ何カ所かに分散させておくと、万一の時も被害が少なく済みます。

事前に情報入手しておこう!

外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

国・地域別情報

広域情報

- 危険情報・スポット情報
最新の現地治安情勢を含む安全な渡航・滞在のための情報
- 安全対策基礎データ
防犯・トラブル回避の観点から役立つ基礎的情報
- テロ概要
その国のテロに関する情報をとりまとめたもの

国際テロ組織の動向を始め、国・地域にまたがる広い範囲で注意が必要な情報など



厚生労働省検疫感染症情報HP

<http://www.forth.go.jp/>

各国政府観光局ホームページ

各旅行会社では

旅行会社によっては、渡航先の安全情報などを掲載した資料を揃えているので尋ねてみよう。また、現地に支店がある場合は、連絡先を必ず聞いておきましょう。

トラブルにあったら

旅先でトラブルに巻き込まれたら、慌てずに旅行会社のスタッフか現地支店に連絡をして指示を仰ぐ。盗難の場合は、たとえバッグひとつであっても、あとで海外旅行保険の携行品補償を請求するなら、現地警察へ届け出て盗難証明書をもらう必要がある。傷害や交通事故など事件性の高いトラブルの場合は、現地の日本大使館または領事館にも知らせる必要があります。